

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は2025年度日本陸上競技連盟規則に準じて行うが、小学生については「1回目のフライングで失格」の新規則は適用せず、旧ルール（一人が2回のフライングで失格）を適用する。なお、スタートの合図はイングリッシュコマンドとする。
2. アスリートビブスは胸と背に必ず規定のものを糸又は安全ピンで取り付ける。各自で用意すること。
3. 競技場への入場等について
【競技者・引率者】※**小学生の入場は7時から、中学生の入場は11時からとする。**
競技場内への入場はすべて南大ゲート（100mスタート地点）を使用する。朝の入場は所属団体ごとにコーチ及び引率者と一緒に入場する。競技終了後は北大ゲート（テニスコート側）又は南大ゲートから退場する。

【保護者・観戦者】
競技場内への入場はすべて南大ゲート（100mスタート地点）を使用する。

【共 通】
メインスタンド内のトイレは使用できない。また、正面入り口から場内に入場することはできない。（緊急時を除く）

【記録等】
記録掲示板を用いての記録等の表示は行わない。放送では3位までの記録等を発表する。それ以外はアスリートランキングで確認する。
4. 選手の招集について
トラック競技：招集点呼場所は、**スタート地点及び各競技場所**で行います。競技者係で自分の名前と所属名を知らせ、アスリートビブスを見せる。トラック競技に出場する選手は、右腰やや後ろ側に腰ナンバーカードを付ける。
フィールド競技：招集完了時刻まで競技を行う場所に**直接集合**する。その際、トラックの横断には十分に注意すること。

招集開始時間と完了時間、競技開始時刻はプログラムに書いてあるので、よく見て遅れないようにすること。点呼に遅れると失格となるので注意すること。招集が終わったら審判員の指示に従うこと。**種目が重なっている場合、トラック種目が優先されるので、そのことを審判員に申し出て指示に従う。**
5. プログラムに記載間違いがあったら本部に早めに申し出ること。
6. レーン、試技順はプログラムの番号順とする。
7. リレーについてはすべて、決められたレーンを走る。（バトンの受け渡しは30mのテイクオーバーゾーン内で行う。）オーダーは競技開始時刻の1時間前までに競技者係まで申し出て、オーダー用紙に走る順を記入する。バトンを渡しても他の選手のじゃまにならないようにするため、係の指示があるまで、自分のレーンから出ないこと。
8. 小学生のハードルは、スタートから第1ハードルまで13m、インターバル7m、高さ70cm、台数9台、最終ハードルからゴールまで11mとする。
9. スパイクシューズ、スタートの仕方、リレーのテイクオーバーゾーンについては要項に記載のとおり。
10. フィールド競技（走高跳、走幅跳、砲丸投、ジャバリックボール投）
(1)走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。（天候によって変更することもある）

【小学男女走高跳】

練習1m05 試技1m10から5cm上げ、1m30以上は3cm上げとする。

背面跳ではなく、はさみ跳でマットへの着地は必ず足裏からとし、背・腹などからの着地は無効とする。

【中学男女走高跳】

練習1m15 試技1m20から5cm上げ、1m50から3cm上げとする。

(2)棒高跳バーの上げ方は、練習1m80、試技2m00から20cm上げとする。

(3)走幅跳、砲丸投、ジャバリックボール投の試技は、それぞれ2回ずつとする。また、走高跳、棒高跳びは同じ高さでの試技は2回とする。

1 1. 競技に使う用器具は、すべて競技場備え付けのものを使用する。※棒高跳のポールを除く。

1 2. 表彰 (小学生のみ)

(1) 1位～3位までの入賞者にメダル、8位までの入賞者に賞状があります。

(2) 1位～3位までの入賞者は競技結果発表後30分程度を目安に正面入口内で係員からメダルおよび賞状を受け取ってください。なお、正面入り口外には、1位～3位までの表彰台を設置します。写真撮影等に使用してください。

1 3. 北海道大会に関して

(1) 今大会において、個人種目トラック競技3位、フィールド競技2位、リレー種目2位、コンバインドA・Bは2位までに入賞した選手は出場権がある。または2025年度の競技会において参加標準記録を突破した選手

(2) 順位で参加資格を得た選手が参加を辞退した場合、繰り上げて参加資格を得ることはできない。

(3) 北海道大会への申し込みについては、各チーム・各自にて行うこと。

(4) 札幌選手団Tシャツはありません。

1 4. その他

(1) 選手は**本部前席前を通らないこと。**

(2) トラックを横断する時は、事故のないよう、十分気を付けること。

(3) 主催者は応急処置のみ行う。

(4) ゴミ類はすべて持ち帰ること。

(5) 貴重品は各自で管理をすること。

(6) 場内の駐車場は、競技役員専用となっています。観戦者の駐車はできません。**競技役員通行証 (札幌陸協発行) または、大会専用通行証 (普及委員発行)** を入り口で警備員に提示して入場願います。

(7) 中学生はプログラムは、ありません。

(8) 望遠レンズやフラッシュ撮影、赤外線撮影装置を利用した撮影、およびドローンによる撮影を禁止する。三脚や自撮り棒を使用するの撮影は、他の観客の迷惑になることがあるので配慮する。